



平成26年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年11月6日

上場取引所 東

上場会社名 京浜急行電鉄株式会社
 コード番号 9006 URL <http://www.keikyu.co.jp>
 代表者 (役職名) 取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経理部長
 四半期報告書提出予定日 平成25年11月8日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 原田 一之
 (氏名) 廣川 雄一郎
 配当支払開始予定日

TEL 03-3280-9135
 平成25年11月27日

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第2四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第2四半期	159,382	10.3	15,201	48.2	12,944	69.9	7,934	92.6
25年3月期第2四半期	144,523	2.0	10,257	18.3	7,619	35.7	4,119	83.2

(注) 包括利益 26年3月期第2四半期 8,929百万円 (142.2%) 25年3月期第2四半期 3,687百万円 (49.1%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第2四半期	14.39	—
25年3月期第2四半期	7.47	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年3月期第2四半期	990,401	203,002	20.5
25年3月期	994,374	195,767	19.6

(参考) 自己資本 26年3月期第2四半期 202,565百万円 25年3月期 195,324百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	3.00	—	3.00	6.00
26年3月期	—	3.00	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	3.00	6.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	314,000	2.3	22,300	16.9	16,800	23.7	9,000	6.0	16.33

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

26年3月期2Q	551,521,094 株	25年3月期	551,521,094 株
26年3月期2Q	343,748 株	25年3月期	323,311 株
26年3月期2Q	551,190,060 株	25年3月期2Q	551,279,603 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想については、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

業績予想に関する事項は、添付資料4ページ「1. (3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照ください。

(参考)

平成26年3月期の個別業績予想（平成25年4月1日～平成26年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	営業収益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	109,900	△5.9	7,600	105.2	4,300	102.9	7.80

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	7
四半期連結包括利益計算書	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9
4. 補足情報	11
【第2四半期連結損益計算書（前年同期比較）】	11
【セグメント情報（前年同期比較）】	12
【鉄道運輸成績】	13

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間(自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)のわが国経済は、経済対策、金融政策の効果などを背景に、企業収益や個人消費に改善の動きがみられるなど、回復基調で推移しました。

このような事業環境のなか、当社グループは、重要な戦略拠点である品川、羽田空港等を中心に各事業を推進するとともに、経営の効率化を図り、経営基盤の強化に努めました。また、ライフラインを担う企業集団として、引き続きすべての事業において安全の徹底を図り、安心、良質なサービスの提供に努めました。

以上の結果、交通事業等が順調に推移したほか、流通事業等における連結子会社の決算期変更の影響も加わり、当第2四半期連結累計期間の営業収益は1,593億8千2百万円(前年同期比10.3%増)、営業利益は152億1百万円(前年同期比48.2%増)、経常利益は129億4千4百万円(前年同期比69.9%増)、四半期純利益は79億3千4百万円(前年同期比92.6%増)となりました。

次に、セグメント別の業績についてご報告いたします。

交通事業

鉄道事業では、昨年10月のダイヤ改正で利便性を向上した効果等により、羽田空港輸送等が増加しました。また、他社と共同で、交通系ICカードの全国相互利用サービスを活用したキャンペーンを実施するなど、当社線の利用促進に努め、輸送人員は前年同期比で1.8%増加しました。

さらに、引き続き安全対策を最重要課題とし、法面防護工事、トンネル補修工事および高架橋耐震補強工事等を行ったほか、大師線で地下化工事を推進しました。このほか、昨年10月に事業区間全線の高架化が完了した京急蒲田駅付近連続立体交差事業で、引き続き駅舎の改良工事等を進めました。

乗合・貸切自動車事業では、京浜急行バス株は、羽田空港アクセス路線でダイヤの見直しを行ったほか、中距離路線で横浜駅(東口)～東京ディズニーリゾート線を増便するなど、輸送力の増強に努めました。また、京浜急行バス株および川崎鶴見臨港バス株は、横浜駅(YCAT)～東扇島線で路線を延長したほか、休日運行を開始するなど、利便性向上を図りました。

以上の結果、交通事業の営業収益は585億4千2百万円(前年同期比2.0%増)、営業利益は98億2千万円(前年同期比30.4%増)となりました。

なお、京浜急行バス株は、10月に、羽田空港のアクセス向上を図るため、羽田空港～大船駅・鎌倉駅線の運行を開始しました。

不動産事業

不動産販売業では、当社は、他社と共同で、港町駅前において大規模分譲マンション「リヴァリエA棟」の販売を引き続き行ったほか、「リヴァリエB棟」の販売を開始しました。また、当社は、他社と共同で、分譲マンション「オーベルグランディオ横浜鶴見」の建設工事に着手しました。さらに、当社および京急不動産株は、引き続き「京急ニュータウン金沢能見台」分譲地、「京急ニューシティ湘南佐島なぎさの丘」分譲地等の販売を行いました。このほか、京急不動産株は、分譲マンション「プライム新川崎」を完売したほか、「プライム雑色」の販売を開始しました。

不動産賃貸業では、リニューアル工事が完了した品川駅前の京急第1ビル高層棟が満室稼働したほか、昨年9月に取得した京急第10ビルの通期稼働などにより順調に推移しました。また、京急開発株

は、他社と共同で、羽田空港等に好アクセスという立地特性を活かし、大田区において「平和島物流センター（仮称）」の建設に着手しました。

以上の結果、不動産事業の営業収益は141億2千7百万円（前年同期比23.4%増）、営業利益は19億1千8百万円（前年同期は営業損失1億4千1百万円）となりました。

なお、当社が他社等と共同で参画している、横須賀中央駅前の大滝町2丁目地区第一種市街地再開発事業において、11月に「ザ・タワー横須賀中央」のプロジェクト発表会を開催しました。

レジャー・サービス事業

ホテル業では、ホテル グランパシフィック LE DA I B Aは、宿泊部門がアジアを中心とした訪日旅客の増加や近隣施設のイベントにあわせた宿泊プランの販売などにより好調に推移したほか、宴会部門は高層階宴会場のリニューアルを活かし、新規顧客の獲得に努めました。また、ビジネスホテル「京急EXイン」は、旺盛なビジネス、レジャー需要を取り込み、品川駅前をはじめ各館が好調に稼働し、客室単価も上昇しました。さらに、当社は、羽田空港利用客等の需要に対応し、ビジネスホテル事業の拡大を図るため、東銀座、京急川崎駅前で土地の取得や既存施設の移設工事等を進めました。

レジャー施設業では、京急開発(株)は、「ボートレース平和島」の外向発売所等が順調に推移しました。

以上の結果、レジャー・サービス事業の営業収益は206億8百万円（前年同期比2.5%増）、営業利益は20億9百万円（前年同期比20.7%増）となりました。

流通事業

百貨店業では、(株)京急百貨店は、紳士服売場にてメンズ&レディース複合型の新規テナントを導入したほか、子ども服売場の大規模改装を行うなど、新規顧客の獲得に努め、好調に推移しました。

ストア業では、(株)京急ストアを存続会社としてユニオネックス(株)を吸収合併し、一体運営による規模拡大と経営の効率化を図りました。また、(株)京急ストアは、「もとまちユニオン日吉店」を開業したほか、新業態の2店舗目となる「京急ストア グロッサリーマーケット みなとみらい店」を開業するなど、立地特性に応じた業態での出店を進め、経営基盤の強化を図りました。

物品販売業では、(株)京急ステーションコマースは、セブン-イレブンへ転換した駅売店が好調に推移しました。

以上の結果、連結子会社の決算期変更の影響も加わり、流通事業の営業収益は659億1千万円（前年同期比20.1%増）、営業利益は9億6千9百万円（前年同期比117.5%増）となりました。

なお、(株)京急ショッピングセンターは、10月に、ウィング高輪 WESTで大規模なテナントの入れ替えや共用部の全面改修を行い、リニューアルオープンしました。

その他

京急建設(株)および京急電機(株)は、引き続き鉄道の安全対策工事等を行いました。また、京急サービス(株)は、認可保育所「京急キッズランド」を新たに2か所開業しました。

以上の結果、その他の事業の営業収益は186億3千9百万円（前年同期比7.8%減）、営業利益は3億9千4百万円（前年同期比34.1%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、現金及び預金の減少などにより、前連結会計年度末と比べ39億7千3百万円減少しました。

負債は、長期前受工事負担金の増加はありましたが、支払手形及び買掛金の減少などにより、前連結会計年度末と比べ112億9百万円減少しました。

また、純資産は、剰余金の配当による減少はありましたが、四半期純利益の計上などにより、前連結会計年度末と比べ72億3千5百万円増加しました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想について、第2四半期までの業績等を踏まえ見直しを行った結果、前回予想（平成25年5月9日公表）を修正しております。

営業収益は、交通事業で前回予想を上回るものの、流通事業で前回予想を下回る見通しとなったことなどから前回予想を下方修正しております。

一方、利益面では、営業利益、経常利益は、交通事業の増収に加え、流通事業で売上原価等営業費が減少することなどにより、前回予想から上方修正しておりますが、当期純利益については、固定資産除却損の増加などにより、前回予想を据え置いております。

平成26年3月期通期連結業績予想値の修正

(単位：百万円)

	前回発表予想	今回修正予想	増減額	増減率 (%)
営業収益	316,000	314,000	△2,000	△0.6
営業利益	20,700	22,300	1,600	7.7
経常利益	15,400	16,800	1,400	9.1
当期純利益	9,000	9,000	0	0.0

※業績予想については、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

なお、特定子会社の異動には該当していませんが、第1四半期連結累計期間において、ユニオネックス株が(株)京急ストアに吸収合併されております。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	49,057	46,666
受取手形及び売掛金	13,103	12,492
商品及び製品	2,504	2,517
分譲土地建物	86,612	86,035
仕掛品	2,201	2,714
原材料及び貯蔵品	498	562
繰延税金資産	3,354	2,920
その他	7,766	9,183
貸倒引当金	△30	△26
流動資産合計	165,068	163,066
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	305,846	301,354
機械装置及び運搬具(純額)	38,025	36,753
土地	158,012	157,968
建設仮勘定	235,991	239,818
その他(純額)	6,595	6,315
有形固定資産合計	744,472	742,211
無形固定資産		
のれん	3,664	3,546
その他	6,568	6,231
無形固定資産合計	10,232	9,777
投資その他の資産		
投資有価証券	42,603	45,817
長期貸付金	2,145	2,023
繰延税金資産	6,178	3,970
その他	23,824	23,672
貸倒引当金	△150	△139
投資その他の資産合計	74,600	75,345
固定資産合計	829,306	827,334
資産合計	994,374	990,401

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	35,406	16,882
短期借入金	146,876	144,642
コマーシャル・ペーパー	10,000	—
1年内償還予定の社債	309	20,072
未払法人税等	3,244	2,920
前受金	4,561	5,383
賞与引当金	1,286	1,673
役員賞与引当金	146	—
その他	25,819	27,509
流動負債合計	227,650	219,085
固定負債		
社債	110,085	110,019
長期借入金	251,724	244,288
繰延税金負債	786	803
退職給付引当金	7,509	7,807
役員退職慰勞引当金	807	762
長期前受工事負担金	171,630	176,574
その他	28,413	28,057
固定負債合計	570,957	568,313
負債合計	798,607	787,398
純資産の部		
株主資本		
資本金	43,738	43,738
資本剰余金	44,157	44,157
利益剰余金	103,828	110,108
自己株式	△239	△257
株主資本合計	191,485	197,748
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,838	4,817
その他の包括利益累計額合計	3,838	4,817
少数株主持分	442	437
純資産合計	195,767	203,002
負債純資産合計	994,374	990,401

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
営業収益	144,523	159,382
営業費		
運輸業等営業費及び売上原価	117,688	125,144
販売費及び一般管理費	16,577	19,036
営業費合計	134,266	144,180
営業利益	10,257	15,201
営業外収益		
受取利息	40	48
受取配当金	201	254
持分法による投資利益	390	611
その他	688	691
営業外収益合計	1,321	1,606
営業外費用		
支払利息	3,700	3,546
その他	257	317
営業外費用合計	3,958	3,863
経常利益	7,619	12,944
特別利益		
工事負担金等受入額	44	109
固定資産売却益	1,501	—
特別利益合計	1,546	109
特別損失		
固定資産圧縮損	44	109
減損損失	1,696	—
固定資産除却損	827	—
特別損失合計	2,567	109
税金等調整前四半期純利益	6,598	12,944
法人税、住民税及び事業税	2,555	2,836
法人税等調整額	△98	2,157
法人税等合計	2,456	4,993
少数株主損益調整前四半期純利益	4,142	7,950
少数株主利益	22	16
四半期純利益	4,119	7,934

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	4,142	7,950
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△454	978
その他の包括利益合計	△454	978
四半期包括利益	3,687	8,929
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,664	8,912
少数株主に係る四半期包括利益	22	16

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

前第2四半期連結累計期間(自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)

1 報告セグメントごとの営業収益および利益または損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	交通事業	不動産事業	レジャー ・サービス 事業	流通事業	その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
営業収益								
外部顧客への営業収益	56,299	8,059	18,160	54,210	7,793	144,523	—	144,523
セグメント間の内部営業収益又は振替高	1,076	3,389	1,948	674	12,423	19,512	△19,512	—
計	57,376	11,449	20,109	54,884	20,216	164,035	△19,512	144,523
セグメント利益又は損失(△)	7,532	△141	1,665	445	598	10,100	156	10,257

(注)1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、建設・土木・電気設備の工事、輸送用機器の修理・改造、ビル管理業務等を含んでおります。

2 セグメント利益又は損失(△)の調整額は、セグメント間取引消去であります。

3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失またはのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「レジャー・サービス事業」セグメントにおいて、減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、1,696百万円であります。

当第2四半期連結累計期間（自平成25年4月1日 至平成25年9月30日）

1 報告セグメントごとの営業収益および利益または損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	交通事業	不動産事業	レジャー・サービス事業	流通事業	その他(注)1	合計	調整額(注)2	四半期連結損益計算書計上額(注)3
営業収益								
外部顧客への営業収益	57,401	10,610	18,715	65,185	7,469	159,382	—	159,382
セグメント間の内部営業収益又は振替高	1,141	3,517	1,892	725	11,170	18,447	△18,447	—
計	58,542	14,127	20,608	65,910	18,639	177,829	△18,447	159,382
セグメント利益	9,820	1,918	2,009	969	394	15,112	88	15,201

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、建設・土木・電気設備の工事、輸送用機器の修理・改造、ビル管理業務等を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントの変更等に関する事項

従来、連結子会社のうち決算日が12月31日であった(株)京急エルベフーズ、(株)京急マリーンフーズ、決算日が1月31日であった(株)京急ストア、決算日が2月28日であった(株)京急百貨店、(株)京急ステーションコマース、(株)京急友の会については、同日現在の財務諸表を使用し連結決算日との間に生じた重要な取引については、連結上必要な調整を行ってまいりましたが、当該子会社が決算日を3月31日に変更したことに伴い、当第2四半期連結累計期間は、(株)京急エルベフーズ、(株)京急マリーンフーズは平成25年1月1日から平成25年9月30日までの9か月間、(株)京急ストアは平成25年2月1日から平成25年9月30日までの8か月間、(株)京急百貨店、(株)京急ステーションコマース、(株)京急友の会は平成25年3月1日から平成25年9月30日までの7か月間を連結しております。この結果、当社およびすべての連結子会社の決算日は、連結決算日と一致しております。

この変更により、当第2四半期連結累計期間の「流通事業」の営業収益が11,844百万円、セグメント利益が174百万円、「レジャー・サービス事業」の営業収益が156百万円、セグメント利益が3百万円それぞれ増加しております。

4. 補足情報

【第2四半期連結損益計算書(前年同期比較)】

	前第2四半期 連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期 連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	増減	増減率
	百万円	百万円	百万円	%
I 営業収益	144,523	159,382	14,858	10.3
II 営業費	134,266	144,180	9,914	7.4
1. 運輸業等営業費及び売上原価	117,688	125,144	7,455	6.3
2. 販売費及び一般管理費	16,577	19,036	2,459	14.8
営業利益	10,257	15,201	4,944	48.2
III 営業外収益	1,321	1,606	285	21.6
1. 受取利息	40	48	8	19.9
2. 受取配当金	201	254	52	25.9
3. 持分法による投資利益	390	611	221	56.7
4. その他	688	691	3	0.5
IV 営業外費用	3,958	3,863	△95	△2.4
1. 支払利息	3,700	3,546	△154	△4.2
2. その他	257	317	59	23.1
経常利益	7,619	12,944	5,324	69.9
V 特別利益	1,546	109	△1,436	△92.9
1. 工事負担金等受入額	44	109	64	144.6
2. 固定資産売却益	1,501	—	△1,501	△100.0
VI 特別損失	2,567	109	△2,458	△95.7
1. 固定資産圧縮損	44	109	64	144.6
2. 減損損失	1,696	—	△1,696	△100.0
3. 固定資産除却損	827	—	△827	△100.0
税金等調整前四半期純利益	6,598	12,944	6,345	96.2
法人税、住民税及び事業税	2,555	2,836	281	11.0
法人税等調整額	△98	2,157	2,256	—
法人税等合計	2,456	4,993	2,537	103.3
少数株主損益調整前四半期純利益	4,142	7,950	3,808	91.9
少数株主利益	22	16	△6	△27.2
四半期純利益	4,119	7,934	3,814	92.6

【セグメント情報(前年同期比較)】

	前第2四半期 連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期 連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	増減	増減率
	百万円	百万円	百万円	%
交通事業				
営業収益	57,376	58,542	1,166	2.0
営業利益	7,532	9,820	2,288	30.4
不動産事業				
営業収益	11,449	14,127	2,678	23.4
営業利益又は営業損失(△)	△141	1,918	2,059	—
レジャー・サービス事業				
営業収益	20,109	20,608	499	2.5
営業利益	1,665	2,009	343	20.7
流通事業				
営業収益	54,884	65,910	11,026	20.1
営業利益	445	969	523	117.5
その他				
営業収益	20,216	18,639	△1,576	△7.8
営業利益	598	394	△204	△34.1
合計				
営業収益	164,035	177,829	13,793	8.4
営業利益	10,100	15,112	5,011	49.6
調整額				
営業収益	△19,512	△18,447	1,065	—
営業利益	156	88	△67	△43.2
四半期連結損益計算書計上額				
営業収益	144,523	159,382	14,858	10.3
営業利益	10,257	15,201	4,944	48.2

【鉄道運輸成績】

科 目	前第2四半期 連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期 連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	増減	増減率
	百万円	百万円	百万円	%
旅客運輸収入				
定期	14,896	15,026	130	0.9
定期外	22,037	22,863	826	3.7
計	36,933	37,890	956	2.6
輸送人員	千人	千人	千人	%
定期	123,631	124,948	1,317	1.1
定期外	95,467	98,013	2,546	2.7
計	219,098	222,961	3,863	1.8